

愛媛県立丹原高等学校

GAPの部

団体名：愛媛県立丹原高等学校

所在地：愛媛県西条市

認証：GLOBALG. A. P.（平成 30 年 8 月）

応募区分：人材育成の部

面積：2a

構成員：383 名

取組品目：ぶどう

取組の紹介

- 同校は、地域密着型の農業教育を展開し、農業の新たな挑戦と魅力発信をテーマに農産物への付加価値を高めるために GLOBALG. A. P. 認証の取得に挑戦、平成 30 年 8 月にぶどうでは全国の高校で初めて GLOBALG. A. P. 認証を取得した。
- 同校園芸科学科では、全専門科目の中に GAP に関する項目を取り入れ、3 年次には、「課題研究」の中で、GLOBALG. A. P. の認証審査に向けた書類作成や一連の作業を生徒に担当させることによって GAP の理解を深めるだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上を図っている。
- 認証取得に当たっては計 40 回（11 月～7 月）の GAP に関する授業を経て、最終的には認証審査の対応を生徒が行えるまでに学習を深めた。生徒・教員が一丸となって取得準備を行った結果、民間コンサルタントに頼ることなく認証を取得できた。
- 認証取得後は、生徒が中心となってぶどうの台湾輸出とそれに係る現地でのプロモーション販売を実現させた。農産物の海外輸出は県内の高校では初めてであり、先進的な GAP 実践校として、地域内外の農業者や関係者から注目を集めている。

同校が重視する地域活動については、地元特産「かき」の輸出に向けて取り組むよう関係機関・団体等に働きかけ、検討会を開催し台湾への輸出に向けて協議を進め、農業法人 2 件が、かきとぶどうの輸出を目指す結果となった。



実習前の留意事項の共有



GAP 更新審査の対応



農産物輸出に関する研修会